



進路通信

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

発行 進路指導部

短期インターンシップを終えて

1年生の「短期インターンシップ」は、2年間新型コロナウイルス感染症の影響により未実施でしたが、昨年度より半日の実施で再開いたしました。各企業の協力もあり、1月29日（月）～2月2日（金）の期間で無事に3日間実施することができました。

生徒たちにとっても、本校に入学して初めての本格的な就業体験でしたが、学校に戻った生徒たちからは、「良い経験ができた」「少し自信がついた」「また行きたい」「学校とは違い、仕事の大変さが分かった」など、達成感や働く事への意欲の向上とともに課題意識を表す声が多く聞かれました。実際の職場で社員の方々の中で働いた3日間は生徒達にとって貴重な体験になったと思います。この体験を、自分の将来を考える上での材料にしてください。

保護者の皆様には、日誌の記入や食事や睡眠、体調管理等、ご家庭での支援などご協力をいただきありがとうございました。

事後学習 生徒の感想（分かったこと・気づいたこと・働く上で大切なこと）

製造（食品以外）

- 作業は正確にして、間違いがないように工夫する。実際に扱う部品は、商品として出荷するため、お客様の気持ちを考えて、正確に作業をする。
- 割り当てられた作業に集中して、取り組む。製造業は集中力が大切なため、決められた仕事を時間内に完成させる。
- 仕事の指示があった時は、一度手を止めて、「はい。わかりました」と相手の目を見て返事をする。

物流

- お客様の物を運ぶ時には丁寧に運ぶ。
- 危ないと思ったらすぐに声をかける。
- 引っ越しの作業の人たちが、重い荷物を持っていて凄かった。
- 周りをよく見て現場に向かう。
- 声を少し大きくする。

エコ・園芸

- カ仕事や多く歩くことがあるので体力が必要。
- 安全に気をつけて道具を扱うこと。
- 安全を意識しながら作業することや体力がとても大切だとよく分かった。
- 植物は、生き物であり丁寧にあつかうことが大切のだと分かった。



↑トヨタグループ株式会社東京事業所の実習の様子

事務

- 郵便物を仕分ける時に、課、階の間違いないように確認することが大切。
- 台車をエレベーターに入れた時、お客様の安全のため、声かけをした。
- 先輩方は、言われる前に自分から行動していた。作業が終わった後に、報告していた。
- 速さより正確性を重視する。速さはあとから身につく。
- 集中力を維持するための体力が必要。
- 事務の仕事はPCの作業だけではなく軽作業もある。（体験した企業はPCが6割、軽作業が4割だった）

清掃

- 身体の使い方を工夫する。(モップがけなどで身体が痛くならないようにする)
- 周りの人から見られていることを意識する。(集中力や通りかかった人への配慮)
- 目立たない汚れもごまかさず清掃。
- 清掃できれいな空間を提供できる事にやりがいを感じた。
- 隅から隅までしっかり丁寧に行く。
- チームで作業するので声かけをすることが必要。
- 学校と職場での清掃の手順がちがったので臨機応変に対応すること。
- 心くばりが大切。相手が気持ち良く利用できる心使いが大切。
- 実際に清掃をしてみて、働く大変さを学ぶことができた。

飲食・厨房

- 安全。お皿運びは数回に分けて行う。食洗器の熱いものはさめてからさわる。
- 清潔整頓。床にピザが落ちていないかきれいに掃く。テーブルをきれいにふく。
- コミュニケーション。大きな声、明るい声で挨拶する。
- すばやくていねいに仕事をする。そうしないと追いつけない。
- 必ず「後ろ通ります」と声をかけることが必要。
- グラムをはかる時は、確実な量ではかる。
- お客様が多い日は、速さと丁寧さがとても必要だった。

製造 (食品)

- ライン作業で自分が相当する食材を、ながれに合わせて入れそこねないようにすること。
- 一カ月に一回は腸内検査を行い、健康管理を徹底していること。
- 誰が作っても見本と同じ量や見た目の盛り付けをする。
- お客様が手に取った時に買いたいと思うような彩りの盛り付けしていること。

小売販売

- 商品を扱う時には両手で丁寧に、慣れてきた時こそ意識してやらなくてはいけないことを学んだ。
- 立ったままの作業や物を運ぶなど、体力が必要な仕事だと分かった。
- 品出しの時に商品を傷つけないように、丁寧に商品を扱うこと。
- 品出しなどの作業の時に、お客様を優先して柔軟な対応をする事に気づいた。
- 大切な事は、「衛生、あいさつ、品質管理、声かけ確認、商品の場所を知っておく」こと。

～課題を改善するのは普段の生活から～

短期インターンシップでは、一人一人それぞれの課題が見えてきました。個別面談では、事後学習で行った自己評価と企業（今回は担当が聞き取って作成）から受けた評価を提示されたかと思いますが、評価にずい分と“差”があったのではないのでしょうか。今後は、その“差”を縮めていくことが大切になっていきます。

具体的な課題の中に「元気な声であいさつや返事ができない」「報告・連絡・相談をためらっている」「忘れ物をしてしまった」「遅刻をしてしまった」などがあつたはずですが。このような課題は、普段の生活がそのまま出た結果であると感じます。「インターンシップではちゃんとやる」「やろうと思えばできる」と言う生徒も時々いますが、日々の学校生活、日常生活の中でできていないことは、外でもできません。企業の方はよく見えています。2年生のインターンシップ、その先の現場実習、就労先で安定して自分の力を発揮するために、普段の生活から課題を意識し、改善しようと実際に取り組んでいくことが大切です。周りから注意や指摘を受け、アドバイスされることはあまり嬉しくないかもしれませんが、それは決して「怒られている」ではありません。2年後に迫っている「就労」に向けて、今、逃げずに課題に向き合うことが求められます。課題を改善することは簡単ではありません。2年後に向けて、今から少しずつ取り組み、卒業する時に「頑張ってきて良かった！」と思えるように普段の生活から取り組んでいきましょう。

是非、ご家庭でも、短期インターンシップで明らかになった「課題」について話題にしていただき、家庭生活の中でも意識を高められるようにご指導いただきますようお願いいたします。

